

**概略** 有効回答者数：21名

出席者の多くは20代男性の学生。40台以上は回答者なし。女性は回答者の1/3だった。

フォーラムに対しては感謝の感想を記述した回答者が多かった。

今後、希望する支援策としては、「様々な業種へのキャリアパス情報」を望む回答者が多かった。

海外若手との交流や海外経験に関する企画への希望は、「海外若手との交流」を望む回答者が多かったが、「留学体験談」を望む回答者もその半数いた。

**各集計結果**

1.年齢	20代	17
	30代	4
	NA	0
2.性別	男	14
	女	7
	NA	0
3.職種	学生	14
	ポスドク	3
	教員・研究員等（大学）	0
	研究員等（試験研究機関）	0
	企業	1
	その他	3
	NA	0

[次ページへ続く](#)

#### 4. 今回のフォーラムへのご意見・ご感想 感謝の感想

三者三様の内容で、非常に参考になりました。

丸さんの話が面白かったです。

リバネスの方のお話が大変印象的でした。ありがとうございました。

パシフィックコンサルタンツの方は、生態学生がどのように仕事にかかわり、どのようなことを求められ、どのような違いがあるのかを説明していただき、とてもためになりました。リバネスの方は面白かったです。社会に出るためにはこういう人の話が大切だと思った。

リバネスの丸さんのお話わかりやすく、とても楽しかったです。私は、去年7月まで2年間広告会社に勤務し、マーケティングをやっていました。結局、この分野に戻ってきて現在ポスドクをやっています。生態学研究者は統計学には強いと思います。

企業や行政でもこれから生態学が生かせる場があることがわかってよかったです。

学位取得後に民間企業での就職としては、これまでネガティブな話が多かったのですが、今日のようなポジティブな話を聞いてよかったです。自分から動くということが重要であると学びました。

毎年面白い話が多いので今後も続けて欲しい。

社会で生態学が必要とされていないのではないか、そんな社会を変えたいと思っていたところだったので、大変勉強になりました。

生態分野で仕事をされている方から、直接、仕事内容やご自身のキャリアなど聞く機会がこれまでなかったので、とても勉強になりました。

一般的な企業説明会のようなお話や、リバネスさんのような新しいお話が聞けてよかったです。次回も、様々な分野の方々のお話を聞けるようなフォーラムにして欲しいです。

参考になった。

学部生でしたがおもしろかったです。

#### 困難さの自覚

ドクターを取得するメリットが感じられなくなるように思いました（丸さんの話を除く）。

様々な職があることを知った反面、求められることも年々多くなっていることも実感したので、大変に難しさを感じた。

#### 意見

質問にもっと時間を割いても良いのではないかと感じました。

とても興味深い話を聞くことができ参考となった。内容だけでなく、具体的な方法ももう少し聞きたかった。

フォーラム、企業説明の日程が、学会の最終日であったが、期間の前半や中間くらいの日程の方が参加者が多かったと思います。

講演者（社）が行っている仕事の紹介はもちろん必要だが、「ここに生態学が必要だ」という話をもう少しして欲しい。そこに募集が無いとしても、新しい考えを自分の中に持つきっかけになると思う。

#### 5. 希望する支援策

様々な業種へのキャリアパス情報	18 ← 専門（生態学）以外の職についての方の話を聞きたいとの回答2名を含む
研究職公募に関する情報	5
その他	1
NA	1

#### 6. 海外若手との交流や海外経験のキャリア活用企画への希望

海外の若手との交流	12
留学体験談	6
その他	2
NA	2

#### 「その他」の記述

若手キャリアパスはあるのに、中高年キャリアパスがないのはおかしいと思っています。教授・准教授クラスの先生方を交えたディスカッションが必要だと思います。

就職活動につながれば何でも良いと思います。